

2月定例会（議会）スケジュール			
2月17日	月	午後1時～	本会議（開会）
2月18日	火	午前10時～	連合委員会
2月20日	木	午前10時～	本会議 一般質問
2月21日	金	午前10時～	本会議 一般質問
2月26日	水	午前10時～	本会議 一般質問
2月27日	木	午前10時～	本会議 一般質問
3月3日	月	午前10時～	常任委員会
3月4日	火	午前10時～	常任委員会
3月5日	水	午前10時～	常任委員会
3月6日	木	午前10時～	常任委員会
3月7日	金	午前10時～	常任委員会
3月11日	火	午前10時～	連合委員会
3月12日	水	午後1時～	本会議（繰越議案）
3月13日	木	午前10時～	連合委員会
3月14日	金	午前10時～	連合委員会
3月19日	水	午前10時～	常任委員会
3月21日	金	午後1時～	本会議（採決、閉会）

県議会傍聴ツアー

私たちの声が届く場所
地方政治の現場を見学しよう！



2月27日（木）午後の一般質問の傍聴に行ってみませんか！県議会傍聴ツアーを計画しています。当日のスケジュール、交通手段、参加費等は、参加希望者数の目途が立ったら詳細をお伝えします。

「傍聴してみたい」という方は、当事務所に電話、FAX、メール、SNSを通じてご連絡ください（裏面左下に連絡先記載）。お待ちしております！



1月12日、私の住む地元集落で賽の神が実施されました。点火するとすぐに全体が燃え上がり、あっという間に終わってしまいました。その間、火の近くで体を温めながら、近所の皆さんと話しました。小学校の統廃合や親の介護の話、農地の基盤整備、いろんな課題があることを再認識しました。

賽の神

無病息災・五穀豊穡

馬場ひでゆきの活動日誌

No.51

1月4日～1月24日

- 6日 上越市新年祝賀会（リージョンプラザ上越）
- 7日 「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会」署名提出に同行（上越市選挙管理委員会）
- 10日 上越地域振興局に25日「するてんまつり」のご挨拶に同行
- 10日 上越の地域医療再編について識者と意見交換
- 11日 上越民商青旗開き（仲町 屋台村）
- 16日 糸魚川地域振興局農政課より、工事請負契約の議会承認未了案件についての報告を受ける（当事務所）
- 17日 県議会でも、令和7年度当初予算案の説明を各部局から受ける（リベラル新潟の皆さんと）
- 18日 東城町でミニ県政報告
- 19日 地元の集落で新年会
- 19日 東中島町内会にて「高齢者社会について」話す
- 20日・21日 県議会の防災・脱炭素社会づくり特別委員会県内行政視察（20日は新潟市役所、21日は三菱ガス化学）
- 23日 上越地区労連旗開き（鳥まん）
- 24日 県議会の県民所得アップ対策特別委員会の県内行政視察に同行（上越市役所、高野生産組合、Jマテ・カッププロダクツ株式会社）
- 24日 子育て支援のNPO法人と意見交換
- 24日 上越商工会議所新春会員交流会（デュオセレッソ）
- 24日 大町2丁目新年会（高田酒蔵楽部「みよし」）

新年会で、ある方から、「議員なんて必要なのかねえ？」と言われました。「そんなこと言うけど、でもやっぱり必要でしょ」と自信をもって言い返すくらいの活動を今年はしたいです。



私の推し本その21

森まゆみ他編「地域雑誌 谷中根津千駄木」
(谷根千工房)

1985年2月、下宿探しのために、地下鉄千代田線根津の駅に降り立ちました。根津交差点をわたると、時間を忘れさせてくれる古い街並みが広がっていました。そこを夕方頃からくたびれたおっちゃんが肌シャツのまま片手にビールを持ちながら、近くの個人商いのクリーニング屋に行き、そこの主人と談笑している、田舎者の自分は「何て人間臭いんだ」と驚きました。

ところが、その翌年頃から東京再開発が始まります。不忍通りの古いたたずまいが地上げ屋によって軒並み解体されて高層マンションに変わっていききました。いわゆるバブルの始まりでした。

そんなとき、森まゆみ、仰木ひろみ、山崎範子という20代の女性3人が立ち上げたのがこの雑誌です。

彼女たちは、地元に住み、資料調査をし、地元民から聞き取りをし、地域の歴史や生活、人々の思いを伝え、地域内の近代建築や民家の保存・活用をはじめ、たくさんの市民活動に関わってきました。各号の「編集後記」からは、彼女たちのナマの日常生活や、地域への思いが直截に伝わってきます。これを読んで、私も「自分の地元に戻って地元を見つめなおしたい」と思うようになりました。地域雑誌のバイブルです。



「トキエア」。上越地域には余り馴染みがないかもしれませんが、新潟空港を拠点とする独立系の航空会社、格安の運賃で現在は国内3路線に飛行機を飛ばしています。

当初は22年度に開業の予定でしたが、実際に就航を始めたのは24年1月。当初は新潟―札幌（丘珠）路線の1路線のみ、その後、新潟―仙台、新潟―名古屋（中部）の3路線に広がりました。今後、成田、佐渡への就航も視野に入れています。

●**減便と相次ぐ機材トラブル**

こうして、事業も順調に推移するのかと思いましたが、最近、トキエアは大丈夫かと心配する事態が相次いでいます。

一つは、仙台線の減便です。昨年の7月から毎日運行していましたが、平日のビジネス需要が伸び悩んでいるという理由で、本年1月からは週4便（金・月）に減便しました。

もう一つは昨年12月中旬以降に相次いだ機材トラブルです。手持ちの航空機が2機しかなく、国内に整備工場もないため台湾で整備、そのために影響が長引

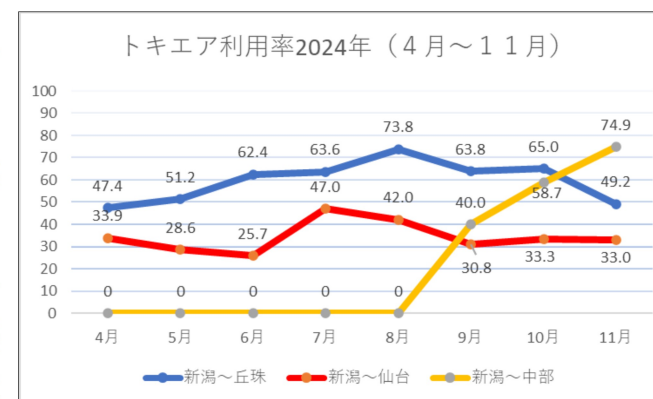
き、1月15日まで減便や欠航が相次ぎました。年末年始を直撃し、利用客の懸念を招きました。

●**県はトキエアに異例の肩入れ**

新潟県は、トキエアの事業展開に関連して異例の投資をしてきました。

トキエアの開業に必要な資金は44億円、そのうち、県は1億6000万円を貸し付けました。昨年には「事業継続に見通しが立った」という理由で、県の雇用創出の補助金制度を利用して3億円を渡しています。

また県は、トキエアの佐渡への定期便就航を見込んで、佐渡



国土交通省東京航空局「東日本におけるコンピューター航空旅客輸送実績速報」より作成（新潟―中部は9月から就航開始）

このままで大丈夫？ トキエアの現状

空港整備に3億円をつぎ込みました。

●県の前のめりの姿勢は疑問

トキエアは、新潟から国内各地に向けた航空ネットワークを構築するという壮大な事業です。しかし、人口減少が進む中で果たして事業を継続するだけの需要が見込めていたのかは疑問です。仙台便が運行開始から数カ月で減便せざるを得なかったことは、需要見込みの甘さを裏付けます。

県の姿勢も、私企業への支援としては至れり尽くせりの特別厚遇といえます。しかし、現状では先行投資がムダになるのではないかとも思っています。私は、昨年の二月議会でも、県が3億円の補助金支出をするのについて反対しました。開業の遅れなどで多額の赤字が生じていることが明白であるのに何ら財政状況の報告もなかったからです。引き続きトキエアの動向を注視していきます。

ただいま修行中！

議員の任期も折り返しに。時間をみつければ、その道の専門家にお話を聞いてます！知らないことばかりで勉強になります。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp